

平成28年度第2回千代田区魅力発信会議
会議録

平成 28 年度第 2 回千代田区魅力発信会議 会議録

日時：平成 28 年 8 月 25 日（木）

会場：千代田区役所 4 階 401 会議室

【1 開会】18時40分

オリンピック・パラリンピック担当課長挨拶

【2 資料確認及び委員出欠確認】

- ・配布資料確認・照合
- ・ワークショップ議論に参加する区の職員の紹介
（「区民向けグループ」コミュニティ総務課長：小川、「区外の日本人向けグループ」
広報広聴課長：七澤、「外国人向けグループ」商工観光課長：中尾）

【3 議題】

●議題（1）会議の公開・非公開について

事務局

本会議については原則として公開。

傍聴者を募ったが事前申し込みは無し。

●議題（2）Facebook についての報告

委託事業者

資料 2 に基づいて Facebook について現在までの経過について説明。

千代田区魅力発信会議 Facebook の記事閲覧数、「いいね!!」数など、他の特別区の Facebook、商業メディアとしての Facebook の事例と比較して説明。他の特別区事例と比較して特段少ないわけではないが、商業メディアと比較すると大きな差がある。

【資料 2 に対して委員意見】

●岡本座長

- ・もっとメディア力がある Facebook の展開が望まれる。

●議題（3-1・2）ワークショップ【1】

委託事業者

- ・資料 3 に基づいて【区民】【区外の日本人】【区外の外国人】
これらを対象にした魅力を発信を行っていくことが目的。目標値を説明。
- ・ワークショップ【1】の目的・ゴールの確認、コンセプトとは何かを説明。

- ・ワークショップ【2】では今回定めたコンセプトを、誰にどのように魅力を伝え、どのように体験させていくのか、コンテンツを検討。
- ・ワークショップ【3】では、誰が、どのように、コンセプトとコンテンツを発信するのか検討。
- ・各ファシリテーターの紹介
(【区民】博報堂協力：櫻井【区外の日本人】博報堂：山口【区外の外国人】ヒューマンメディア：小野打)

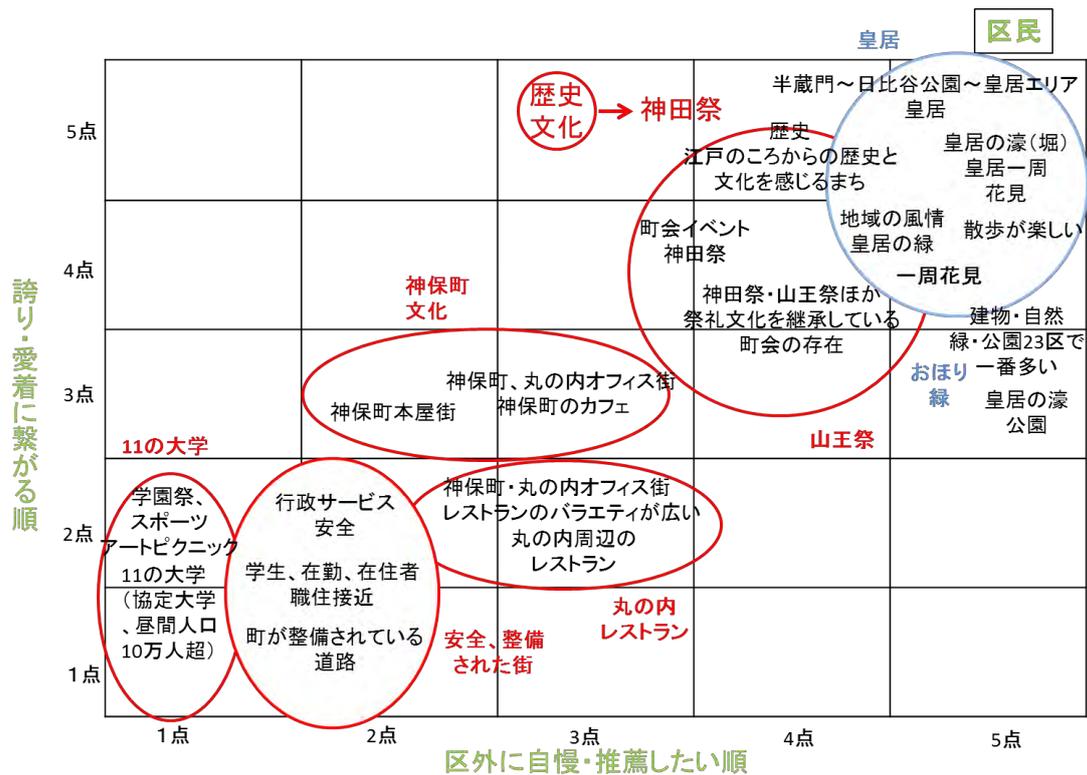
● (3-3-①) セッション①千代田区の魅力ランキング

- ・今日のワークショップ【1】のセッション①では、昨年、大項目・中項目・小項目と体系化した中の中項目と小項目で最も魅力だと思われる5つを出し合って頂き、これについて順位づけしていただきます。

【発表】

●【区民発表者：柿内委員】

昼間区民、住民両方について、皆さんの意見を頂き、チャートを作っていました。1番得点が総合的に高かったのが皇居、皇居の緑、皇居の歴史。それに次いで神田祭や山王祭に代表される地域の祭り、歴史文化というところが評価され比較的高い点数になりました。続いて神保町、ご存じの通り古書店が多いですが、ここでは古書店だけではなく、文化という点が評価されました。また丸の内のレストランが挙がっています。中項目の同じ項目でしたが、丸の内と神保町は当然違う街ですので、近いけど違うというところで別のカテゴリーとしました。続きまして、安全・整備された街というところが評価されていると思います。また大学密集しているというところも評価が高かった点です。これを見ていくと、他の区にはない大きな武器は、やはり皇居だと思いますが、逆に皇居に頼らないところでもっとアピールできれば更に強くなるのかなと思った次第です。

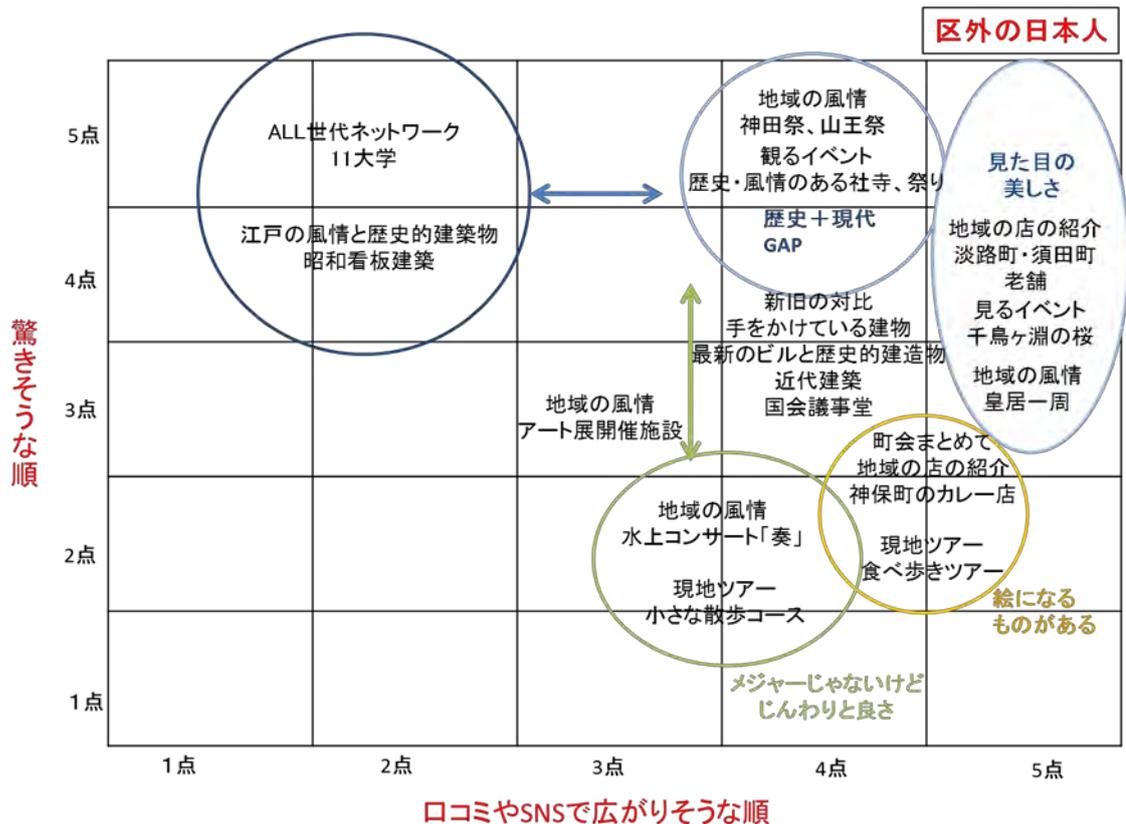


●【区外の日本人発表者：中川委員】

5つほどのグループと分類分けしましたが、もっとも点数が高いのは神田祭や山王祭神社祭りというお祭りの分野です。また有名な千鳥ヶ淵の桜、国会議事堂、近代建築などというものが驚きそうな分野でも口コミ SNS でも5点、4点と高かったです。神社につきましては歴史的なものに加え、規模的な面での驚きがあるということで点数が高くなっています。都市部にありながらもそういった歴史的で大きなお祭りがあるというのは非常にめずらしいものということでこの点数になったと考えられます。千鳥ヶ淵の桜につきましては有名という事もあって少しは驚き面では低くても、見た目の美しさで、写真を撮られている方も沢山いますので、インパクトとして大きいということで SNS での点数が高くなりました。皇居一周ですとか、神保町のカレー店と食べ歩きツアーがでまして、こちらの方も知ってる方が多いので3点と低めですが SNS で広まりますし、見た目的に絵になるということになりました。驚きそうな点では2点と低いですが口コミで広がりやすいと出たのが、小さな散歩コースと水上コンサートという点です。千代田区の有名なところはほぼ行きつくしてしまった人が行く穴場、メジャーじゃないけど行くと素敵なスポット、じんわり良さがあるということでこちらの二つのスポットが出ました。SNS では広がらないが驚きがあるということ

で11大学と昭和の看板建築というものができて、昭和の看板建築につきましては、先ほどのお祭りと同じように都市部にありながらも歴史的、昭和的な古いものがあるとしてこちらになりました。

結果としましては、千代田区という都市部の地域の中に歴史的な神社や祭りがあるギャップという面で、区外の日本人への魅力になるのではないかと思います。



●【区外の外国人発表者：今枝委員】

千代田区を訪れる外国人の方々に対する魅力について、このマトリックスを作っています。

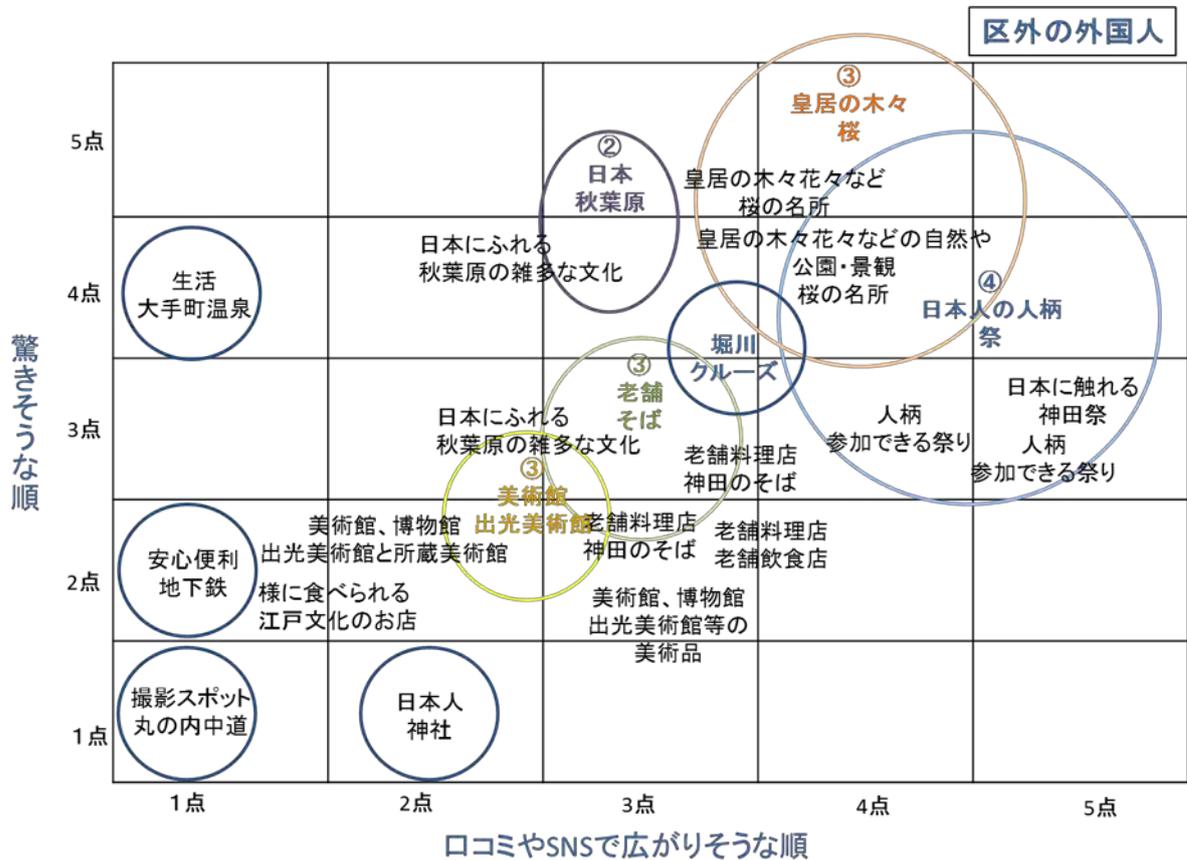
多くの点数が集まった項目としては、日本の文化に触れる、そして人柄に触れるというところでお祭りが1番多く、その次に皇居の木々や桜に多く集まっています。季節限定ではあるが、大きく発信できるということがこの2つにあると感じます。

続いて秋葉原、老舗の蕎麦屋や美術館といったところが挙がっています。

私たちのグループは人数が少なかったのですが、生活面でいう大手街の温泉で、安心便利の地下鉄、撮影スポットとしての丸の内中通り、また日本人の文化発信の要となる神社が挙がっています。

このインパクトは大きいかもしれないが、外国人にとって日本の魅力はおもてなしを

してもらえぬ国でもあるということから、日々の生活もここにあるという点の魅力も発信していけたらいいのではないかと考えています。



【休憩】

- ・ 3分間の休憩。

●セッション②千代田区の魅力発信コンセプト

委託事業者

- ・ 私たちは、区民、区外日本人・外国人に向けて、千代田区のAという魅力の発信を通じて、Bという価値を提供することを約束し、Cな(の)街と呼ばれることを目指します。といった文章のフォームを用意しました。
- ・ 最初にセッション①でランキングづけをした魅力をふまえてA, B, Cを埋める作業を進めていただきます。
- ・ Aにはランキング上位の魅力の中項目と小項目の言葉を組み合わせ、工夫しながら当てはめ、それを全体として〇〇という価値という。Bの言葉を要素出しにより広げて行って文章化し、Cのところは〇〇な(の)街だと呼ばれたいとまとめるため、これも要素出しにより広げて行って文章化することを各テーブルで進めていただきます。

【発表】

●【区民発表者：鵜飼委員】

私たちは**区民**に向けて、千代田区の
皇居や祭りに代表される、江戸から未来まで続く、歴史・文化
という魅力の発信を通じて、
心が満たされ、ゆとりある人生と、歴史に触れられる
という価値を提供することを約束し、
江戸から続く未来都市
と呼ばれることを目指します。

自分達の住んでる街あるいは働きに来ている街の魅力をいっぱい書き出しました。皇居とか文化とか祭り、江戸といった話に代表される歴史観、江戸の魅力発信を通じて、自分たちの心のふるさとに通じて、心が満たされる、あるいは、成熟した街のゆとり感。お金とかではない心のゆとり感。そして歴史そのものがそこかしこにあるという価値がそのままダイレクトに感じれる、触れられる、中に入り込んだような包まれ感を感じるという価値を提供することができる街だと絞り込んでいきました。これをつくっているのは江戸から始まるこの街、そこから始まる未来の都市なんだと位置づけようとしています。言葉はブレていますが、江戸から続く未来都市という言葉でまとめて、今も、これからも、私たちがもっているものから築き上げられた未来を想像できる街に住んでみませんか、という意味で、江戸から続く未来都市と呼ばれる街を目指しますとまとめました。区民はもちろん昼間人口はそういう未来都市に働きに来たいなとってこの都市に来ていただけるイメージです。

●【区外の日本人発表者：須川委員】

私たちは**区外の日本人**に向けて、千代田区の
皇居・桜とオフィス街や歴史を感じる祭りと路地裏
という魅力の発信を通じて、
正統さと意外性と奥深さ
という価値を提供することを約束し、
歴史の中から新しいものが生まれ続けていろんな体験ができる、ずっと飽きない
街と呼ばれることを目指します。

皇居・桜・大丸有のオフィス、歴史を感じる祭り、それから日本橋を渡れば神田という路地裏で構成されるような街、みんなが思い浮かぶもの、そういったものが千代田区の中に共存しています。それ以外にも麹町と霞が関とは全然違う街ですよという意見もありました。それがそんなに広くないエリア、皇居を除けば東京23区の中で一番面積が小さいと思われるエリアに共存している。そんな魅力の発信を通じて、正統的なものと意外性のある奥深さ、そういったものを価値として区外に提供していく。どういった街と呼ばれたいかということでは、歴史の中から新しいものが生まれ続けて色んな体験が出来る、ずっと飽きない街と呼ばれることを目指して行きたい、先ほどの江戸から続く未来都市とも似たようなコンセプトではあるがこういったものを区外の人に向けて、訴えていきたいというのが我々のグループでの結論になりました。

●【区外の外国人：山水委員】

私たちは**区外の外国人**に向けて、千代田区の

伝統とポップを入口・出口に、日常とハレ、歴史と今を、簡単に行き来できる

という魅力の発信を通じて、

生粋の江戸・東京を知る(Know)、観る(Look)、感じる(Feel)ことができる

という価値を提供することを約束し、

江戸・東京の心の幕の内弁当のような

街と呼ばれることを目指します。

区外の外国人に向けての千代田区は、伝統とポップを入口・出口に、日常とハレ、歴史と今を簡単に行き来できると書いてあります。

伝統とポップは、伝統はもちろん歴史的なものを多く持っているということで、ポップというのは秋葉原にポップカルチャーがあるということ、歴史的な部分でもポップカルチャーという部分でも日本人と触れ合うことができるということになります。それを入口・出口にしようということで話し合いました。

日常とハレ、歴史と今を簡単に行き来できるというのは、日常とハレという軸と、歴史と今という時間軸でも行き来して、様々なことを体験、感じるができるという事です。日常とハレというのは、普段生活している日本人の様子を見ることは出来ますし、その中でハレというのは祭りや桜のイベントです。祭りも、日常でコツコツと、がんばって用意してきたものを見ると、よりすごさを感じることはできないかということで、また桜というのも日々、毎日コツコツ時間をかけて咲いていったものだと見てもらえれば、時間軸で見てもらえれば素敵ではないかという話でした。

歴史と今というのは、出光美術館で絵巻物、歴史の資料を見た後に、歴史的なものを実際に見たら感動が増すということで取り上げています。

生粋の江戸・東京を知る・観る・感じるができるという価値を提供すると書いてありますが、この江戸・東京というのは歴史と現代のことで、知る・観る・感じるというのは外国人に簡単に伝わりやすい簡単な言葉としました。

最後に江戸東京の心の幕の内弁当な街と呼ばれることを目指しますと書いてありますが、これはやっぱり千代田区というのは様々なものが魅力がぎゅっと、文化であったり、食べ物であったりが詰まっているというのを伝えたいということで、沢山具が詰まっている幕の内弁当として造語で表現することによって気を引こうということで、このような言葉になりました。

【休憩】

- ・ 5分間の休憩

【4 セッション③千代田区の魅力発信コンセプト「千代田区の魅力は、どのような価値を提供できるだろうか？」】

委託事業者

【区民】【区外の日本人】【区外の外国人】に向けて同じ構造でどういう魅力発信を通じて共有価値を提供してどのような街と呼ばれるのか整理しました。当然、対象が違うので異なるだろうと思っていたんですが、もうちょっとバラバラになるかと思っていましたが、思った以上に共通点が多いことに驚いています。この後、【2】・【3】のワークショップで、誰に対して、今三つ決まっているその中でも、誰に対してどのように語りかけていくのか、その後、誰が語るのかという事をやりますけども、今日は共通の部分、共通性を見出していこうということで議論、ワークショップを行っていきます。

まずAのところは、皇居・桜・オフィス・祭り・路地裏・秋葉原。

日常とハレ、歴史と今、江戸から未来、それが行き来できるとか、去年から多様性と言われていましたけれども、対になるものが色々で見出されていると思います。

Bで歴史・未来、正統さと意外性と奥深さというのは対比の形でよろしいでしょうか。

●区外日本人ファシリテーター：山口

皇居や桜など王道な千代田区と、ビル街のなかの祭りなど奥深さがあって、そのさきに小さな驚きが路地裏に眠っている。初心者から上級者までずっと何かを感じ取れるのではないかと区外の日本人チームでは出しました。

●区民ファシリテーター：櫻井

こちらでは未来と歴史を行き来できるということ。タイムスリップという言葉も出て、自由に行き来できることが特徴としています。

●区外日本人ファシリテーター：山口

多様性が、個性として詰まっている、混ざり合って残っている。共存の意外性。

●由比委員

今ある魅力的なものを並べていると思うんですけど、千代田区は何かという定義がないので、どれだけ良い言葉を並べても光らないと思うんですよね。となりの文京区でも歴史、文化カルチャーあると思いますけど、千代田区は一体どんどころなんだと、外国人から見ても日本の中心の中心であって、東京駅がありますと言ったところで、日本の中心の中で歴史を感じたり、文化を感じたりギュッとつまっているところがあったり、歴史の入り口があったりとか、江戸の皆さんが言ってきたコミュニケーションとか、そんな魅力が、例えば日本の中心、ど真ん中で感じられるのが魅力かなとは思っているので、千代田区の定義というものをある程度決めた方が良いと思う。

難しい言葉ではなく、東京駅があると聞くだけで日本の中心なんだなとも思う。逆に知らない方だったら、皇居が日本の中心だとわからない人もいると思うので、千代田区が日本の中心なんだとそこに歴史があるんだといったところに定義をおけば、この文章みんな光ってくると思うが、そこの定義が抜けていると感じた。

●【統括】

私たちは区外の日本人に向けて、千代田区の

A 日本を中心・東京の顔。

多様なものがギュッと詰まって、

江戸から未来に時間がつながり、それを瞬時に行き来できる

という魅力の発信を通じて

B 来訪：正統・意外・奥深さ、知る・観る・感じる

住む・学ぶ・働く人：心が満たされてゆとりのある人生

という価値を提供することを約束し、

C 来訪：色々と体験

住む・学ぶ・働く人：江戸から未来に続く、色々体験

な（の）街と呼ばれることを目指します。

●岡本座長まとめ

急遽、区外の外国人向けのメンバーに入ることになった。三つとも根底に持っているものが共有されたと思う。次回、次々回、持っている価値を三者にアピールしたいという気持ちを共有できたことが非常によかった。

どういう表現をするかというのは、単に価値を表現することは全然違って、次回に非常に期待したい。

千代田区では、今皇居になっているが、江戸城に天下祭りが入るのが300年続いている、日本中探しても信じられないことがある。同じ素材、同じ魅力も、紐解いて枝分かれしていくと、ものすごい多様性になるという魅力が千代田区にある。これらの入口の部分は共通しているが、底なし沼のように文化と価値が湧き出て、流れ出していくことへの期待が三者三様にある。それをどういう風にどういう人たちに伝えていくのが見えてきたと思う。

これをどんな言葉にまとめるかは難しい。次回までの、事務局の宿題にしよう。どう呼ばれてみたいという部分は、議論していても価値観が様々あるのでイマイチ絞りきれなかった。2段、3段跳びのような全然違うような言葉ではあるがすべてを網羅しているようなそういったものを作成してくれることを期待する。一方、気持ちの上で、ベースを作れたということでは今日は良かったと思う。

●委託事業者

この今日、前にある文章は我々でお預かりして次回までにまとめてきて、冒頭でお知らせしたいと思います。

【5 議事終了】

●岡本座長

議題がすべて終了したことを宣言。

【6 次回会議の案内】

●事務局連絡

次回実施が9月8日（木）に第3回目の開催。第2回目のワークショップは発信の重点的な対象者。また、それに対する発信内容での議論を予定し事前に議論を行うテーマを事務局で取りまとめた上で、委員の皆様にお知らせする。

【閉会】 21時00分